



わが町の文化財

Notogawa's important cultural assets

能登川町には、
先人の残した多くの遺産があります。
これらの遺産は、後の世まで伝えるため、
「指定文化財」として保存します。

国指定の文化財

1 あづちじょうあと **安土城跡** (南須田・きぬがさ) 【特別史跡】

織田信長が、天正4年(1576)安土山に7層の天守閣を持つ城を造りました。これが安土城です。

安土城はその後火災にあい、いまは石垣や建物の礎石が残るだけとなっていますが、最近の発掘調査で、城ができた当時のことが少しずつわかってきています。



滋賀県指定・選択の文化財

2 しほんしゃくしよくえ けいず つけたりいちりゅうそうしょうえ けいず じよ **紙本著色絵系図、附一流相承絵系図序**

(妙楽寺・伊庭)

【絵画・県指定】

絵系図の絵の部分の大きさは縦130cm×横57.5cm、絵系図序の大きさは縦212cm×横43.5cmです。

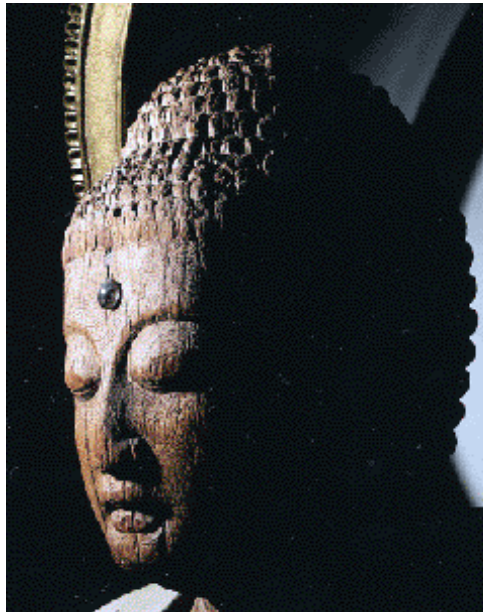
この絵系図の内容は、念仏の教えが親鸞聖人から了念にどのように伝わっていったかを説明したものです。

いまは絵系図と序に分かれていますが、もともとは一つの巻物であったようです。



3 もくぞうぶつとう **木造仏頭** (善教寺・種) 【彫刻・県指定】

何回もの火事にあい、仏頭だけがいまに伝わっています。この仏頭の大きさは、長さ54.2cm・顔の幅27.5cm・奥行き35.7cmです。頭から下の部分は、のちの時代に付け加えられたものです。顔の表情から、平安時代後期に造られたことがわかりました。



4 におうどう **仁王堂** (大浜神社・伊庭) 【建造物・県指定】

間口5間×奥行き5間の入母屋造りの建物です。いまは改修されて神輿の倉庫として使われていますが、昔は5間仏堂という建物であったと言われています。建物の部材から鎌倉時代前期のものとなりました。



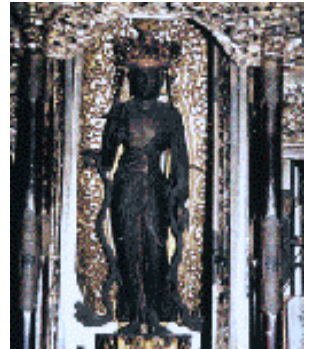
5 ちょうこう じ おもてもん
超光寺表門 (超光寺・南須田)【建造物・県指定】

表門は四脚門、切妻造り、本瓦葺という造りです。この門は、安土城にある摠見寺建立のときの裏門を移したものであると言われていて、また摠見寺での発掘調査でもこの門と同じ寸法の門の遺構が見つかっています。



9 もく ぞうしょうかん のんりゅうぞう
木造聖観音立像 (大徳寺・能登川)

木でできた仏像で高さは92cmあります。この仏像は平安時代の特徴をよく残すもので、寺の言い伝えによると「恵心僧都」と言われています。



6 いば さかくだ
伊庭の坂下し (安楽寺・伊庭)

【無形民俗文化財・県選択】

毎年5月3日に行われる古くからの祭りで、3基の神輿が500mの距離を大きな岩からすべり落ちます。近江の奇祭の一つとしてよく知られています。



10 だいとう かくし ぼく せき
大燈国師墨蹟 (大徳寺・能登川)

紙の上に墨で文字を書いた掛け軸で、文字が書かれているところの大きさは、縦35cm×横45cmです。右端には「乗月上高楼宗峰(花押)」があり、「宗峰」とは大燈国師の号です。



能登川町指定の文化財

7 せき ぞう ほう とう
石造宝塔 (長勝寺・長勝寺)

花崗岩の石で造られたもので、高さは239cmあります。たいへん保存状態がよく、石に彫られた「嘉歴」(1326～29年：鎌倉時代)と「阿闍梨」の文字が読めます。この宝塔は、鎌倉時代の特徴をよく残した立派なものです。



11 いし とうろう
石燈籠 (望湖神社・伊庭)

花崗岩で造られた六角形の燈籠です。高さは230cmもあります。基礎(一番下の石)部分には蓮の花をかたちどった模様や格狭間が彫り込まれています。石燈籠の各部分には南北朝時代の特徴がよく表現されています。



8 ね はん ず
涅槃図 (善勝寺・佐野)

絹織物の生地に色をぬって描かれた(絹本 著色) 掛け軸で、絵の部分の大きさは、縦172cm・横122.4cmです。作者は室町時代の僧侶であった吉山明山(兆殿司)と言われています。この掛け軸には、室町時代の特徴である切金技法という技法を使った模様が描かれています。



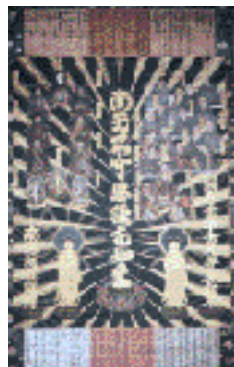
12 もく ぞう あ み だ にょらい ざ ぞう
木造阿弥陀如来坐像 (妙金剛寺・伊庭)

この坐像は高さ89.7cmあります。平安時代の終わりから鎌倉時代の初めに造られたもの(藤原仏)で、脇土は建長6年(1254)に造られたという古文書があります。



13 こうみょうほんぞん
光明本尊 (正厳寺・伊庭)

絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 125cm × 横 100.2cm あります。下地の色が黒色、三菩薩と聖徳太子が小さく描かれているなどの特徴から室町時代のものということがわかります。表装は蓮の書き表具です。



14 こうみょうほんぞん
光明本尊 (妙楽寺・伊庭)

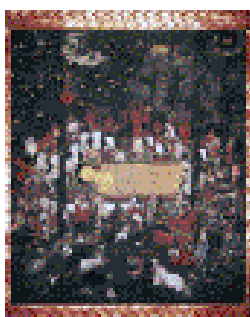
絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 158cm × 横 92cm あります。

寺の言い伝えによると、親鸞聖人が描いたもので、建武の乱 (1334 ~ 37 年) のときに京都渋谷仏光寺から移されたと言われています。



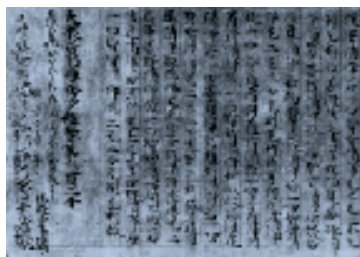
15 ねほんず
涅槃図 (妙楽寺・伊庭)

絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 139cm × 横 122cm あります。これには、涅槃図にはめずらしくネコの絵が描かれていて、京都東福寺の涅槃図の下絵と言われています。この絵は室町時代の特徴をよく残しているものです。



16 だいほんにやほらみたきょう
大般若波羅蜜多經 (柳瀬在地・伊庭)

お経を書き写した長さ 25.9cm の巻物で、もともとは 600 巻あったようですが、いまは 74 巻が残るだけです。この大般若経は最初静岡県で写され、その後湖西地方 (志賀町) に移り、いま能登川町伊庭で保管されています。



17 だいほんにやほらみたきょう
大般若波羅蜜多經 (上山神社・山路)

いま残っている大般若経はすべて巻物で、長さは 27 ~ 28cm です。いまは 449 巻が残っています。その中でいちばん古いものは第 327 巻で、最後に「延長 7 年」 (929 という文字) が書かれています。



18 ぼさつがたかけぼとけ
菩薩形懸仏 (上山神社・山路)

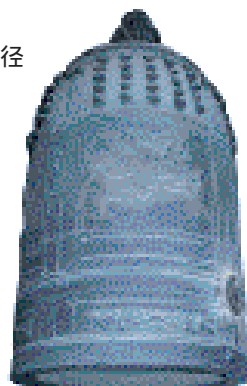
この懸仏は、白銅製の金属板に金メッキしたものに、仏像を線で彫刻したものです。大きさは、直径 21.4cm で上の部分の左右につり下げるための穴のあいた突起があります。

鏡から懸仏に変化する途中の形をしています。鎌倉時代の作品と考えられています。



19 ぼんしょう
梵鐘 (発願寺・佐野)

梵鐘は、高さ 138.2cm × 直径 74.8cm です。木を打ちつける撞座はやや高い位置にあり、周囲の天人飛翔は優雅な模様に仕上げられています。「天文 9 年 (1540) 三俣 五個荘町 住、藤原姓 徳田相左門家次」の銘文が残っています。



20 ほうどうじいせき
法堂寺遺跡 (佐野)

地名に「法堂寺」という小字名があり、また白鳳時代の瓦が出てくることから、白鳳 (奈良) 時代の寺跡と考えられています。いまは塔心礎が残っているだけです。最近の発掘調査で寺の伽藍配置がわかりつつあります。



21 しん らんしょうにん がっしょう ご えい
親鸞聖人合掌の御影 (本行寺・種)

絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 130cm × 横 72cm あります。

この絵は、室町時代のすぐれた画家によって描かれたもので、別名「花の御影」とも言われます。



25 もく ぞう あ み だ に よ ら い ざ ぞう
木造阿弥陀如来坐像 (光照寺・阿弥陀堂)

この仏像の高さは 147.7cm です。表面には金箔がよく残っています。

中世に火事にあい本堂は失われ、この像を残すだけですが、鎌倉時代の作品とされています。



22 しょうとく たい し え ぞう
聖徳太子絵像

(本行寺・種)

絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 102cm × 横 46cm あります。

詳しいことはわかりませんが、室町時代のすぐれた画家によって描かれたようです。



26 もく ぞう あ み だ に よ ら い りゅうぞう
木造阿弥陀如来立像 (浄土寺・川南)

この像の高さは 96.1cm で、ヒノキで造られた寄木造りの仏像です。

この像の特徴は、顔と下半身が長く表現されているところにあります。平安時代後期から鎌倉時代にかけての来迎の弥陀信仰が盛んであった時代のものです。

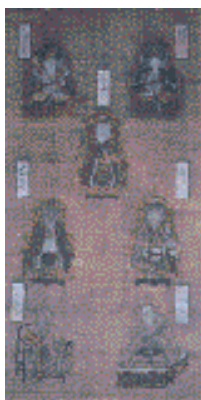


23 しん しゅうしち こう ぞう え ぞう
真宗七高僧絵像

(本行寺・種)

絹本著色の掛け軸で、絵の部分の大きさは縦 102cm × 横 64cm あります。

詳しいことはわかっていませんが、室町時代のすぐれた画家によって描かれたようです。



27 はち おう し ほっきょうでん らいもんじょ
八王子法橋伝来文書 (五人衆・安楽寺)

法橋というのは能登川町安楽寺にいまも残る「五人衆」という組織の最年長者のことです。

この文書は、700年という長きにわたって受け継がれてきたもので、能登川町の中世史解明のために貴重な資料です。



24 もく ぞう せん じゅ かん のんりゅうぞう
木造千手観音立像 (善教寺・種)

仏像は寄木造りで、高さは 110cm です。表面には朱色の塗料がぬられています。目は後の時代に内側からはめ込まれていますが、平安時代後期の作品です。



28 く ぜい し おもてもん
弘誓寺表門 (弘誓寺・跡光寺)

この門は、大型の四脚門に入母屋造りの屋根をかぶせた門です。門が建てられた時期は、部材の模様などから江戸時代後期と考えられます。

また、境内には諸堂が当時のまま残っていて、伽藍配置構成の上からも重要な遺構です。



町内指定文化財一覧

種 別	名 称	所在地	所有者	指定年月日	時 代
	国指定文化財				
特別史跡	安土城跡	南須田 きぬがさ		昭和27. 3.29	安土・桃山
	県指定文化財				
絵 画	紙本著色絵系図、附 一流相承系図序	伊 庭	妙楽寺	昭和48. 3.31	北朝? 室町
彫 刻	木造仏塔	種	善教寺	昭和49. 3.11	平安
建造物	仁王堂 超光寺表門	伊 庭 南須田	大浜神社 超光寺	平成 5. 3.31 平成 7. 3.31	鎌倉 桃山
	県選択				
無 民	伊庭の坂下し	伊 庭		昭和57. 3.31	
	町指定文化財				
建造物	石造宝塔 弘誓寺表門	長勝寺 跡光寺	長勝寺 弘誓寺	昭和47.11. 3 平成 6.10.27	鎌倉 江戸後期
絵 画	光明本尊 涅槃図 涅槃図 光明本尊 親鸞聖人合掌の御影 聖徳太子絵像 真宗七高僧絵像	伊 庭 伊 庭 佐 野 伊 庭 種 種 種	妙楽寺 妙楽寺 善勝寺 正巖寺 本行寺 本行寺 本行寺	昭和47.11. 3 昭和47.11. 3 昭和48. 9.23 昭和48. 9.23 昭和48. 9.23 昭和48. 9.23 昭和48. 9.23	南北朝 室町(後期) 室町(前期) 室町 室町 室町 室町
彫 刻	木造千手観音立像 木造聖観音立像 木造阿弥陀如来坐像 木造阿弥陀如来坐像 木造阿弥陀如来立像	種 能登川 伊 庭 阿弥陀堂 川 南	善教寺 大徳寺 妙金剛寺 光照寺 浄土寺	昭和47.11. 3 昭和47.11. 3 昭和48. 9.23 昭和48. 9.23 昭和55.11. 3	平安 平安 平安 鎌倉以前 平安後期
工芸品	石灯籠 梵鐘 菩薩型懸仏	伊 庭 佐 野 山 路	望湖神社 発願寺 上山神社	昭和47.11. 3 昭和55.11. 3 昭和55.11. 3	南北朝 室町 平安? 鎌倉
書 籍	大燈国師墨蹟 大般若波羅蜜多經 大般若波羅蜜多經	能登川 山 路 伊 庭	大徳寺 上山神社 柳瀬在地	昭和47.11. 3 昭和60.11. 3 平成 4.11.19	鎌倉 平安? 鎌倉 鎌倉
史 跡	法堂寺遺跡	佐 野		昭和47.11. 3	奈良(白鳳)
古文書	八王子法橋伝来文書	安楽寺	五人衆	平成 6.10.27	鎌倉末? 近 代